

- (1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

大学のパンフレットを見て、上品な校風に魅力を感じました。また、私は将来国語の教師になりたいのですが、同志社女子大学では教育についてもしっかりと学ぶことができると知ったため、志望校に決めました。

- (2) 一般入試対策としての受験勉強の進め方について。

〔1学期〕

1学期は、高1・高2の時に学んだ基礎的なところを固めることに重点を置いて勉強していました。本格的に受験に向けた勉強をするというよりは、今まで学んでいたことを復習して、受験勉強をするための準備をしていました。

〔夏休み〕

夏休みは塾の自習室を利用して勉強していました。1日の長い時間、1人で勉強するのは、なかなかモチベーションを保つことが難しくかったので、友人と息抜きをしながら頑張っていました。勉強内容は主にセンター試験の過去問演習を行いました。また、平行して、復習と基礎基本をおさえることも1学期から継続して行っていました。

〔2学期～入試直前〕

2学期に入ってから、夏休みの時よりも徹底的に過去問演習を行いました。1年分解いたらやり直しをし、知識の詰め直しも細かく行い、同志社女子大学の過去問を8年分解きました。たくさん年度の問題を解くことで傾向をつかむこともできました。また、実際の試験時間である60分をしっかりと慣らし、慣らしていく。時間配分を決めておくなどの工夫をしました。国語は、古文単語の暗記を重点的に行い、英語は英単語、英文法を重点的に勉強しました。

- (3) この一年間の受験生活において、受験勉強と高校の行事やクラブ活動の両立、健康面での注意、テレビやスマートフォン等との付き合い方、スランプとその対処法について。

体調管理をしっかりとすることが大切だと思います。体調を崩してしまうと、毎日の受験勉強に支障が出てしまいます。試験前は、1日も無病態にしたいので、規則正しい生活を心がけました。

また、テレビやスマートフォンは、1日塾で集中して勉強したあと、家に帰ってから、動画を観たり、ドラマを見たりと、息抜きに使っていました。

- (4) 受験を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

勉強は決して辛いこともたくさんあると思いますがあきらめないうつなさい。周りには、みなさんを手助けしてくれる人がたくさんいます。どんな結果になっても、やり直した、後悔はない、と思えるような受験生生活にしてくださいね。